

## 〈コープしが平和への願い〉

### 「協同の力で誰もが安心して暮らせる平和な社会をめざして」

#### はじめに

文化や科学技術が著しい発展を遂げた 20 世紀は  
一方で戦争の世紀とも言われ膨大な犠牲者を生みました。  
21 世紀を迎えた現在も戦争や貧困、飢餓はやむことがなく  
テロやそれにとまなう報復など、新たな脅威も広がっています。

コープしがでは「市民のよりよき生活の大前提は平和であり、戦争のない平和な社会が基本である」との視点で 1994 年に平和政策骨子を策定し、「協同の力で平和な地域社会の実現を」というスローガンのもと、夏の市民平和行進、ピースアクションをはじめとした「平和とくらしを守るとりくみ」を組合員とともに積み重ねてきました。

しかしこの間、世代交代が進む中で社会や平和に関する情勢も変化しており、私たちを取りまく、くらしの中における「平和」について、多様な視点から「組合員の想いや願い」に沿った活動をすすめていきます。

#### くらしの中のさまざまな「不安」と「平和」

現在、私たちを取り巻く社会情勢は「貧困や飢餓」「テロや戦争」といった国際問題をはじめ、「犯罪の低年齢化」「いじめや虐待」「自殺」など身近なくらしの中にも“命が脅かされる不安”が深刻化しています。

「平和」への想いはさまざまであり、一人ひとりの価値観は違っても「命が尊ばれ、安心して暮らせること」は誰もが望み、生活協同組合が理想としてきた共通の願いです。一人ひとりがお互いを思いやり、認め合いながら平和な世の中の実現に向けて、身近な事柄から関わりを持つことが大切です。

#### 策定にあたって

コープしがでは「組合員の声」から「平和」への多様な願いや想いをたくさんいただきました。12 万人の組合員の想いを一つにすることは難しいことかも知れませんが、出来る限りその想いに近づき多くの人が共感できる考え方を明示し、平和を願う気持ちを表した取り組みに広げていくことが必要です。

「わたしのしたいこと」「わたしにもできること」といった一人ひとりのつながりを大切にしながら平和の取り組みを広げていくことをめざします。

# コープしが平和政策

## コープしがの視点

コープしは「人類に平和の保障があってこそ、一人ひとりが大切にされ、豊かなくらしと未来を築くことができる」ものとし、組合員、役職員が協力しあい、地域とともに一人ひとりの自発性と想いを大切にしたい平和なくらしを築く取り組みをすすめます。

私たちは過去の歴史に学び、命の尊さを考え、お互いの人権を守り、自然と共生し、安心できるくらしづくりをすすめます。

## 明るい未来と平和の実現に向けて（課題）

一人ひとりが「命の尊さ」を考え、「お互いを認め合い」「思いやりと協調を大切にしたい心」をもち、多様な取り組みに関心を持つことが必要です。それが安心してくらせる未来への一歩です。

### 戦争のない社会の実現を望みます

- ◇ 戦争の歴史や体験を学び、一人ひとりが考える場を増やします
- ◇ 非核三原則、平和憲法を大切にします
- ◇ 戦争やテロに反対する思いをあらわします

### 誰もがお互いを認め合い、思いやりを大切にしたい心を持ちます

- ◇ 身近なくらしのなかでコミュニティーを大切にします
- ◇ お互いの無関心をなくし、すべての人がいきいきとくらせる助け合い活動を進めます

### 基本的人権を尊重し犯罪のない地域の実現をめざします

- ◇ 人の痛みを知り、命を大切にしたい心をもつ活動を支援します
- ◇ 地域で子どもを見守る活動、情報の交流の場を大切にします
- ◇ 「たべる」と「いのち」をつなぎ、親と子が共に育つ「食育」に取り組めます

### 子どもたちの未来を守り、安心して暮らせる社会づくりをすすめます

- ◇ 平和を愛し、自然を慈しむ心を持った子供を育てる活動を支援します
- ◇ 子育てについて、みんなで話し合い、学び合う輪を広げます
- ◇ ユニセフ活動を知り、知らせます

# 「一人ひとりの一歩」から「協同の力」へ（実現へのステップ）

—— 組合員の想いを受け止め、平和を願う活動を支えます ——

## step1

### 「一人ひとりの一歩」のために

- ・気付きや活動の芽生えを促します。
- ・「願い」から「形」への気持ちを作ります。
- ・情報提供や、活動の紹介をします。



- ◆戦争体験を聴き、戦争の歴史を風化させることなく、子どもたちに語り伝えましょう。
- ◆平和の映画、学習会、講演会に参加し、平和について考えましょう。
- ◆国際的な視野を広げ命が脅かされている人たちに、手をさしのべるユニセフ活動を始めましょう。
- ◆地域でお互いが支え合うボランティア活動にできるところから参加しましょう。

仲間づくりやつながりの芽生え



## step2

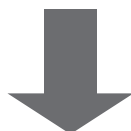
### 「わたし」と「あなた」のための

- ・「わたし」の活動を支えます。
- ・「わたし」と「あなた」の活動のつながり、橋渡しをします。
- ・情報提供や、活動の紹介をします。



- ◆「わたしの平和」についてみんなで話し合う場をつくり、考え合いましょう。
- ◆夏のピースアクションをはじめ、創意と工夫で平和への願い、想いをあらわしましょう。

交流・共感から協同の輪へ



## step3

### 「くらしを創る協同の力」へ

- ・ネットワークへの広がりを創ります。
- ・平和への大きなうねりを創ります。



- ◆団体や行政とのネットワークをつくり、平和を脅かすさまざまな動きに対して「平和を守る想いや願い」を「声や行動」にあらわしましょう。